

第七次中期経営計画（令和2年度～4年度）

令和4年度の取り組み状況について



みやぎ仙南農業協同組合



第七次中期経営計画の位置づけ

当組合の基本理念の実現へ向けて、第七次中期経営計画の基本方針「組合員と共に創る農業・地域の未来～JA自己改革へのさらなる挑戦～」のもと、基本目標である「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「豊かな地域社会の創造」「地域を支えるJA経営基盤の確立」に向け、12項目の重点実施事項に基づく26項目の具体的な取り組みを進めています。

【JAみやぎ仙南コンセプト(基本理念)】

「食」と「農」を未来へつなぎ、豊かなくらしと心を育み、
夢と笑顔の溢れる地域づくりに貢献します。

第七次中期経営計画(令和2年度～令和4年度)

基本方針 「組合員と共に創る農業・地域の未来～JA自己改革へのさらなる挑戦～」

基本目標 「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」 「豊かな地域社会の創造」 「地域を支えるJA経営基盤の確立」

重点取り組み事項12項目に基づく26項目の具体的な取り組み

第七次中期経営計画の位置づけ

基本目標Ⅰ 「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」

重点実施事項

1. 地域の特性を生かした担い手の確保と育成
2. 地域営農ビジョンの策定・実践による農業所得の拡大
3. 担い手経営体のニーズに応える個別対応の強化
4. 園芸振興などマーケットインに基づく農業生産の拡大
5. 地域農業の振興に資する営農指導体制の強化

具体的な取り組み事項

- 新規就農者の育成・支援
地域営農を担う生産組織(集落営農・農業法人)及び組織化支援
- 中期経営計画実践を支える地域営農ビジョンの策定と情報共有
- 農業生産の省力化・低コスト化へ向けた更なる取り組み
担い手経営体に対する個別支援の充実
農業関連総合相談と担い手支援機能強化による農業者の所得増大の継続した実施
- 需要に応じた米づくりによる生産振興
園芸振興による農業生産の拡大
畜産振興による農業生産の拡大
顔とくらしの見える産直(産消提携活動)を通じた相互理解の更なる発展
- 「農業所得の増大」「農業生産の拡大」を担う営農指導体制の整備
営農指導員の確保と資質の向上



第七次中期経営計画の位置づけ

基本目標Ⅱ 「豊かな地域社会の創造」

重点実施事項

1. 組合員のアクティブ・メンバーシップの確立
2. 地域協同活動の推進
3. JAらしの活動を通じた地域コミュニティの活性化
4. 組合員・利用者の期待に応える総合事業の展開

具体的な取り組み事項

- JAファン・仲間づくりのためのアプローチ
准組合員の「農」に基づく加入時説明の徹底と意思反映、運営参画
- 少子高齢化対策のため世代間交流を含めた次世代利用者へのPRイベントの開催
地区事業本部ごとの特色を生かした協同活動の展開
- 地域の多様な組織との連携及び生活インフラ、食農を機軸とした複合サービス、拠点の提供
- 利用者に寄り添った提案と相談業務の強化
手元で簡単・便利に取引できるインターネット、スマートフォンアプリによる便利機能の提供
総合事業の強みを最大限活かしたJAらしいサービスの提供
部門間連携による総合事業利便性の発揮



第七次中期経営計画の位置づけ

基本目標Ⅲ 「地域を支えるJA経営基盤の確立」

重点実施事項

1. 自己改革の実践を支える持続可能なJA経営基盤の確立・強化
2. 自己改革の実践を担う人材の育成と活力ある職場づくり
3. 組合員の信頼にこたえるコンプライアンス態勢の充実強化

具体的な取り組み事項

- 自己改革の取り組み継続と事業部門ごとの基盤確保に向けた経営シミュレーションの強化
- 問題解決型研修会による活力ある職場づくり
部門間における情報共有
人材育成基本方針の見直しと人事制度の再構築
- 内部統制の維持強化と信頼と絆の向上プランに変わる取り組みの実践



令和4年度の取り組み状況について

I. 「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」

令和4年度の取り組み状況について

1. 地域の特性を生かした担い手の確保と育成

具体的な取り組み事項

【新規就農者の育成・支援】

- ・政策支援新規就農者については、巡回面談者のリストに基づき市町と連携し巡回相談対応を行いました。また、青年等就農資金に係る資金相談や新規就農に係る相談対応をしました。
- ・新規就農者7名をTACの訪問対象に追加し、定期的に巡回相談を実施しました。

【地域営農を担う生産組織(集落営農・農業法人)及び組織化支援】

- ・令和4年11月28日に第2回JAみやぎ仙南農業法人会研修会及び、法人化に係る個別相談会を実施しました。
- ・法人化支援を2件行いました。
- ・農業共済組合と連携し収入保険の加入啓発に取り組みました。令和5年加入実績295経営体(うち法人経営体40)。
- ・法人化支援については、圃場整備事業に取り組んでいる地区のニーズに基づき支援しました。
- ・定年帰農者等を対象とした丸森農業創造センターとの共催による農業チャレンジ研修を行いました。



I. 「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」

令和4年度の取り組み状況について

2.地域営農ビジョンの策定・実践による農業所得の増大

J Aみやぎ仙南
地域営農ビジョン

具体的な取り組み事項

【中期経営計画実践を支える地域営農ビジョンの策定と情報共有】

・7地区事業本部ごとのビジョンを策定し、随時更新するとともに情報共有に関する支援を行いました。



3.担い手経営体のニーズに応える個別対応の強化

具体的な取り組み事項

【農業生産の省力化・低コスト化へ向けた更なる取り組み】

- ・肥料の銘柄集約、農薬の大型規格及び農家直送により、延べ面積で2,836.8[㌥]（前年1,878.4[㌥]、958.4[㌥]増）の実績となりました。
- ・生産資材価格低減については、春肥料の早期配達奨励や年間の利用高に応じた大口奨励、肥料高騰特別対策等に取り組みました。

【担い手経営体に対する個別支援の充実】

- ・農業労災保険の周知及び加入促進、事務支援 指定農業機械従事者277人、特定農作業従事者309人、計586人（前年対比△19人）
- ・農業経営管理支援事業の利用は53経営体となりました。
- ・肥料価格高騰対策事業に取り組み、肥料費支援を行いました。



I. 「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」

令和4年度の取り組み状況について

4. 園芸振興などマーケットインに基づく農業生産の拡大

具体的な取り組み事項

【需要に応じた米作りによる生産振興】

- ・栽培マニュアルを作成し、こだわり米(1,206^{トン})、ふるさと安心米(798^{トン})の生産に取り組みました。
- ・実需者ニーズに応える作付け誘導として業務用の作付け誘導をはかり、前年対比69.7%、10,532袋の集荷となりました。
- ・作況指数101(前年は100)となり、集荷実績は前年産を下回る結果となりました。428,838袋(上位等級91.11%) 前年:486,153袋(上位等級90.77%)
- ・買取米については担い手対策の一環として、集荷対策における「戦略的買取販売」と位置付け、引き続き推進を図りました。実績12,663俵 前年:15,043俵

【園芸振興による農業生産の拡大】

- ・重点品目8品目、推進品目3品目の生産振興に取り組みました。
- ・補助事業を活用した園芸振興(園芸用パイプハウス等)として増収に向けた支援を行いました。
- ・令和4年度TAC園芸作物推進により生産振興に取り組みました。12品目、対象者19名(25件)、助成額2,927,106円(対象面積1,229.3a)



(単位:袋)

項目	R2	R3	R4
業務用米生産拡大	15,889	15,108	10,532

(単位:面積a)



品目	R4計画	R4実績
玉ねぎ	610	630
長ねぎ	630	700
ブロッコリー	201	278

I. 「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」

令和4年度の取り組み状況について

4.園芸振興などマーケットインに基づく農業生産の拡大

具体的な取り組み事項

【畜産振興による農業生産の拡大】

- ・全農、畜産協会等の事業を活用するとともに、JA独自の生産対策推進事業を設定し、優良雌牛、優良肥育素牛等の導入を進めました。
- ・JAみやぎ仙南をはじめとした共進会及び共励会等の参加によって、仙台牛率アップに取り組んだ結果、仙台牛率は73%となり、2024年到達目標である55%を上回りました。
- ・ブランド化を図るため、各関係機関と連携し仙南産仙台牛の販売会を実施しました。
- ・畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業(生産基盤拡大加速化事業、繁殖雌牛増頭事業)の活用 13経営体、33頭増頭、補助額8,118千円(畜産クラスター事業機械導入)の活用 3経営体、5台申請
- ・宮城県代表として、第12回全国和牛能力共進会鹿児島大会肉牛部門へ2頭の出品を行いました。



R4年度導入実績	導入数	経営体
優良雌牛	33	13
肥育素牛	19	5

I. 「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」

令和4年度の取り組み状況について

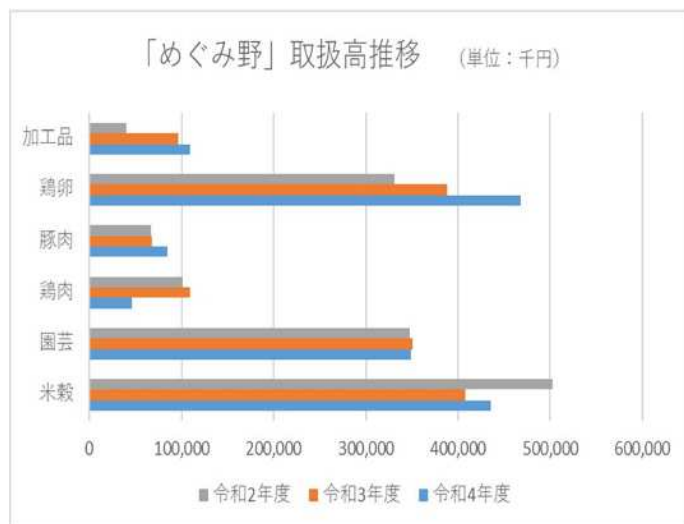
4.園芸振興などマーケットインに基づく農業生産の拡大



具体的な取り組み事項

【顔とくらしの見える産直(産消提携活動)を通じた相互理解の更なる発展】

・生産者と消費者の食に対する思いを結ぶことで幸せを分かち合う「産消直結」の取り組みによって、めぐみ野の取り組み(米・園芸・畜産・加工等)取扱総額は1,492,162千円となりました。



(単位：千円)

みやぎ生協「めぐみ野」取扱高

		令和2年度	令和3年度	令和4年度
米	穀	502,895	408,231	435,510
園	芸	348,064	350,676	349,115
鶏	肉	101,784	109,169	46,208
豚	肉	67,270	67,528	84,241
鶏	卵	330,915	387,680	467,917
加	工 品	39,884	96,078	109,171
合	計	1,390,812	1,419,362	1,492,162

I. 「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」

令和4年度の取り組み状況について

5.地域農業の振興に資する営農指導体制の強化

具体的な取り組み事項

【「農業所得の増大」「農業生産の拡大」を担う営農指導体制の整備】

- ・穀物乾燥調製貯蔵施設(カントリーエレベーター)令和3年9月施設利用を開始しました。運用2年目は、目標を下回り稼働状況については34.9%となっています。主食用米7,452袋、保有米782袋、飼料用米7,347袋、備蓄米209袋。
- ・流通センター委託費については、配送の平準化を図り、配送台数の削減による経費削減に努めました。



I. 「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」

令和4年度の取り組み状況について

5. 地域農業の振興に資する営農指導体制の強化

2022年9月7日(水) 日本農業新聞 県版宮城 10ページ

具体的な取り組み事項

【営農指導員の確保と資質の向上】

- ・営農関係職員の各種必要資格の取得を推進するとともに管理表の更新を行った。
- ・人事教育部門と連携し、研修受講を計画的に進めた。
- ・営農指導員のレベルアップを目的に参加した「令和4年度JA営農指導実践大会」において、最優秀賞(宮城県大会)、優秀賞(北海道・東北ブロック)を受賞した。



この人

JA営農指導実践宮城県大会で最優秀賞

8月26日に開かれた2022年度JA営農指導実践宮城県大会で、農業経営管理支援事業(記帳代行)の取り組みについて発表。見事、最優秀賞に輝き、北海道・東北大会に県代表で出場する。

「この事業の重要性をアピールしたい」と意気込みを語る。

1986年に旧角田市農協に入組。広域合併を経て営農部門の業務を中心に携わってきた。

農業経営管理支援事業を担当して7年目となる。農業経営にかかる税務や簿記などの支援・指導を行っている。

「事業を通じてJAとの信頼関係や存在意義が深まり、担い手の経営安定や地域農業を元気にするものと確信している。目標は利用者100件」と話す。

上司の水戸慎太郎課長は「農業経営管理支援事業が、多くの組合員に必要とされる事業になってもらいたい」と期待する。55歳。

(みやぎ仙南)

渡邊 陸子さん
(JAみやぎ仙南)



Ⅱ. 豊かな地域社会の創造

令和4年度の取り組み状況について

1. 組合員のアクティブメンバーシップの確立

具体的な取り組み事項

【JAのファン・仲間づくりのためのアプローチ】

- ・信用事業にかかる「便利な商品のお知らせ」を作成し、JA主催のイベント等においてJA未利用者の方を含め、PR活動を実施しました。（出張講座、フレミズ交流会、女性大学、防災教室、船岡駅前駐車場利用感謝企画 等）
- ・3Q訪問活動による保障点検・提案、情報提供を行い総合保障の提供に取り組みました。
- ・地域の女性を対象に実施した虹色テラスにおいても、クイズを用いたJA事業紹介を実施し、地域住民へのJA事業に対する理解醸成に取り組みました。

【准組合員の「農」に基づく加入時説明の徹底と意志反映、運営参画】

- ・女性大学講座および各地区の地域活性化活動、准組合員加入申し込み時に「くらしのサポートガイドブックVol.4」を活用したJA事業PRを実施しました。
- ・准組合員加入時アンケートを実施し、参画希望者への地区毎での情報提供制度を整備しました。
- ・准組合員モニターアンケートを2回実施しました。（回収率93.2%）

【対話としての組合員訪問活動の継続】

- ・実施を予定していた6月と12月に新型コロナウイルス感染拡大が見られ訪問活動を見合わせといたしました。



Ⅱ. 豊かな地域社会の創造

2. 地域協同活動の推進

具体的な取り組み事項

【参加型イベントへの取り組み】

- ・第15回JAみやぎ仙南組合長旗争奪JA共済少年野球大会を開催し、小学生の健全育成と明るい地域づくりに寄与いたしました。(開催日:8/27(土)管内の7チーム参加)また、全共連における県主催のJA共済少年野球大会(全共連)中止に伴い、管内の参加予定チーム21チームに対し精米5キロ×選手人数分を寄贈しました。
- ・感染状況に応じて計画の変更や修正等を加えながら、JA全体としては計45項目のイベントおよび地域活性化・貢献活動を実施しました。

【地区事業本部毎の特色を生かした協同活動の展開】

- ・情報交換室の情報について量質ともに向上が見られました。(前度対比110%)
- ・地区だよりコンクールおよび支店共同活動コンクールを実施し、活動内容の充実と各地区間の情報共有に努めました。
- ・槻木支店と村田支店が県の支店協同活動コンクールで優秀賞を受賞しました。



農業のために 地域のために 明日のために

JA共済の
地域貢献活動

令和4年度の取り組み状況について

2023年3月11日(土) 日本農業新聞 ワイド1東北 11ページ

JAの組織基盤強化へ JA宮城中央会 トップセミナー



支店協同活動コンクールで入賞した5支店の代表者ら(10日、仙台市で)

【宮城】JAの組織基盤強化に向けてJA宮城中央会は10日、仙台市のJAビルで「2022年度支店協同活動コンクール」で入賞した5支店を表彰。

最優秀賞と優秀賞の3支店が活動内容を発表し、日本協同組合連携機構(JCA)基礎研究部の小林元部長は「JAの組織基盤の変化と対応の必要性」と題して基調講演。「組合員構造の変化に合わせ、世代別・世帯別戦略を検討し、JAとの関わりを可視化することが大事だ」と語った。JA組合長ら約40人が出席。JA幹部職員ら約150人がオンラインで視聴した。

1ドドライブ運動などの取り組みを紹介。「地域の笑顔と元気のために、これからはできることから一つ一つ、楽しくやっていきたい」と発表した。優秀賞のJAみやぎ仙南槻木支店と同JA村田支店も、それぞれの活動を発表した。同コンクールには4JA14支店の応募があり、優良賞はJA加美よつば色麻支店とJA新みやぎ浦谷支店が受賞した。

Ⅱ. 豊かな地域社会の創造

令和4年度の取り組み状況について

3. JAくらしの活動を通じた地域コミュニティの活性化

具体的な取り組み事項

【地域の多様な組織との連携および生活インフラ、食農を機軸とした複合サービス、拠点の提供】

- ・生活福祉課と連携した事業のPR(女性大学講座での福祉用品展示および相談会、脳年齢血管年齢測定ほか)を実施しました。
- ・女性大学、女性大学OG会、農業体験を柱にイベントを開催し、生涯学習の場を提供するとともに農業に対する理解を深めることができました。
- ・緑のある暮らしコンテストにおいては、県外からの応募もあるなど広くJAの活動をPRできました。
- ・女性大学卒業生の希望者61名で家の光記事活用グループ女性大学カレッジ輝楽里OG会を設立しました。
- ・各地区公民館などで、JA出張講座を14回の実施しJA事業に対する理解醸成に取り組みました。



Ⅱ. 豊かな地域社会の創造

令和4年度の取り組み状況について

3. JAくらしの活動を通じた地域コミュニティの活性化

具体的な取り組み事項

【地域の多様な組織との連携および生活インフラ、食農を機軸とした複合サービス、拠点の提供】

- ・令和4年4月よりInstagram公式アカウントの本格運用を開始し、次世代層へ向けたJAの広報活動を展開しました。(フォロワー510名)
- ・地域コミュニティ(公民館や子育てサポートグループ、婦人防火クラブなど)と連携したJA出張講座を実施しました。



Ⅱ. 豊かな地域社会の創造

令和4年度の取り組み状況について

4. 組合員・利用者の期待に応える総合事業の展開

具体的な取り組み事項

【利用者に寄り添った、提案と相談業務の強化】

- ・本店にライフプランインストラクターを2名配置し金融渉外との同行推進活動を行い、利用者に寄り添った提案を行いました。
- ・3Q訪問活動を通じ既加入世帯未加入者、未加入世帯への保障提案活動を実施し保障拡充を図りました。
- ・ローン相談会(相談105件)、年金相談会(相談70件)、スマホ教室(67名参加)を各地区で開催しました。更に、4年ぶりに資産形成セミナー(参加者48名)を本店会場にて開催いたしました。



【手元で簡単・便利に取引できるインターネット、スマートフォンアプリによる便利機能の提供】

- ・金融部門では、組合員・利用者の利便性向上を図るため、新規口座開設時においてネットバンク等の重点セールス項目のセット推進を実践いたしました。
- ・共済部門では、契約者に対して、訪問活動・窓口来店時にWebマイページのメリットを訴求しながら登録促進活動を行いました。



Ⅱ. 豊かな地域社会の創造

令和4年度の取り組み状況について

4. 組合員・利用者の期待に応える総合事業の展開

具体的な取り組み事項

【総合事業の強みを最大限活かした、JAらしいサービスの提供】

- ・各種キャンペーンの特典ならびに相談会における来店記念品として、管内の農産物等を活用しPRを行い、JAならではのサービスの提供を実践しました。
- ・仙南管内保育施設にJAオリジナルキャラクター米斗くん米夢ちゃんのイラストがプリントされたオリジナルマイ箸セットを3,600個寄贈しました。
- ・仙南管内の令和5年度の新小学1年生を対象に、JAオリジナルキャラクター米斗くん米夢ちゃんのイラストがプリントされたオリジナル防犯ブザーを1,100個寄贈しました。



1. 自己改革の実践を支える持続可能なJA経営基盤の確立・強化

具体的な取り組み事項

【自己改革の取組継続と事業部門ごとの基盤確保に向けた経営シミュレーションの強化】

- ・「収益性」「信用リスク」「市場リスク」「流動性リスク」を観点として、より精度が高い経営シミュレーションが求められています。持続可能な収益性と将来にわたる健全性に着目し、経営シミュレーションを作成しております。
- ・「固定資産活用方針に基づく処理計画」に基づき、計画的に不稼働資産の解体、売却、再利用等を進めました。
(解体:旧丸森支店等、旧平沢給油所、旧藤尾支所、旧桜農業倉庫)
- ・BCP(事業継続計画)についてはマニュアルを見直し、より実態に沿った形に改訂しました。



Ⅲ. 地域を支えるJA経営基盤の確立

令和4年度の取り組み状況について

2.自己改革の実践を担う人材の育成と活力ある職場づくり

具体的な取り組み事項

【問題解決型研修会による活力ある職場づくり】

・定例の会議、研修会のほか、知識の習得と実務対応にかかる認定試験を受験し事務レベル向上に努めました。

【部門間における情報共有】

・金融渉外と共済渉外の情報共有により、お客様ニーズに基づいた商品の提案を行いました。

【人材育成基本方針の見直しと人事制度の再構築】

・常勤役員と職員の個別面談を継続実施しました。
・人材育成基本方針の見直しにあたり情報収集を行いました。

【内部統制の維持強化と信頼と絆の向上プランに代わる取り組みの実践】

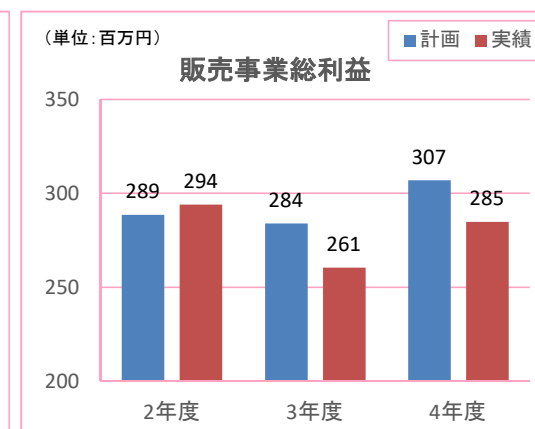
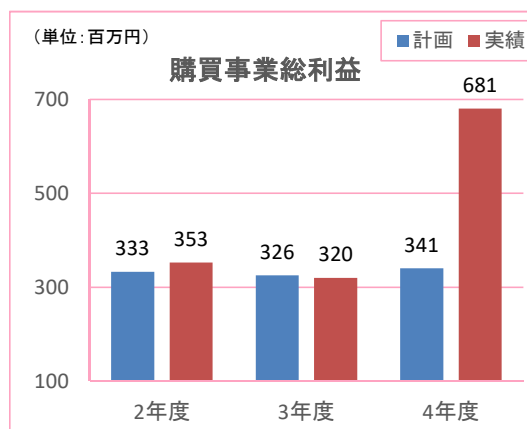
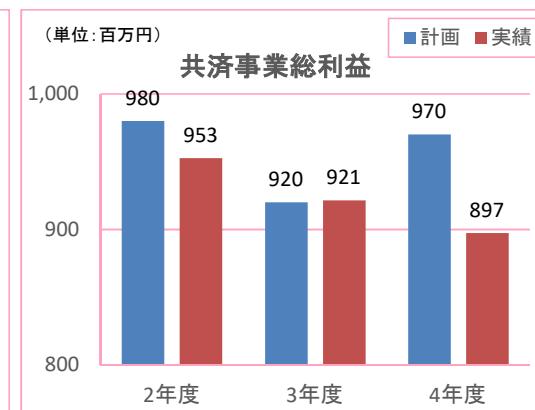
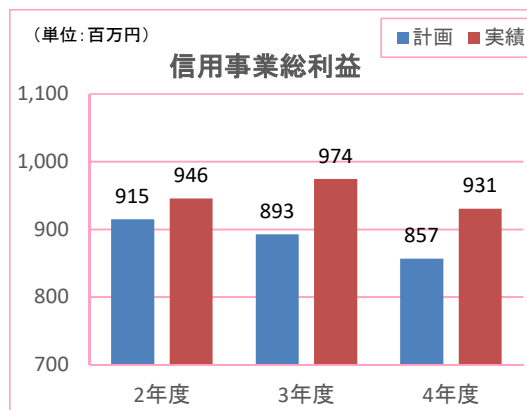
・JAグループとして全国的に求められている不祥事再発防止対策や当JAの事務ミス等の傾向に合うようコンプライアンス・プログラムを策定し、「不祥事ゼロ運動」を展開しました。



第七次中期経営計画 実績推移

(単位：千円)

	第1年度	第1年度	第2年度	第2年度	第3年度	第3年度
	令和2年度	令和2年度	令和3年度	令和3年度	令和4年度	令和4年度
	計画①	実績①	計画②	実績②	計画③	実績②
信用事業総利益	915,000	945,629	893,000	974,484	857,000	930,577
共済事業総利益	980,000	952,723	920,000	921,499	970,000	897,228
購買事業総利益	333,000	352,981	326,000	320,320	341,000	680,625
販売事業総利益	288,624	294,048	284,066	260,556	307,000	284,942
保管事業総利益	29,448	35,290	34,650	39,872	38,000	45,841
加工事業総利益	90,000	91,226	94,800	78,326	100,000	68,348
利用事業総利益	64,730	44,218	59,972	39,266	110,000	46,170
その他事業総利益	50	85	28	49	50	73,112
指導事業収支差額	△ 78,493	△ 78,368	△ 36,371	△ 13,498	△ 76,000	△ 74,804
事業総利益	2,622,359	2,637,836	2,576,145	2,620,877	2,647,050	2,952,042



第七次中期経営計画 実績推移

(単位：千円)

	第1年度	第1年度	第2年度	第2年度	第3年度	第3年度
	令和2年度	令和2年度	令和3年度	令和3年度	令和4年度	令和4年度
	計画①	実績①	計画②	実績②	計画③	実績②
事業総利益	2,622,359	2,637,836	2,576,145	2,620,877	2,647,050	2,952,042
事業管理費	2,621,859	2,568,107	2,574,645	2,567,764	2,642,000	2,994,747
事業利益	500	69,729	1,500	53,112	5,050	△ 42,704
経常利益	144,120	229,014	97,500	207,682	195,050	32,615
税引前当期利益	44,120	343,942	47,500	540,102	45,050	492,697
当期剰余金	16,120	227,601	19,500	394,486	17,050	449,113

